

令和 4 年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	修文学院高等学校	学校 No.	
1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制） (1) コロナ禍のため、学校内での活動を基本とした。 (2) フォローアップ学習会で受講したことを、令和 5 年度以降は実際の活動に活かし、福祉活動を充実させていきたい。 2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録） 4～7月 パキスタン、フィリピン、韓国についての研究（国際理解） 7月 文化祭展示準備 8月 青少年等ボランティア福祉体験学習（おもちゃ図書館） 9月 文化祭展示 9月 一宮市木曽川町一豊まつり（黒田小学校） 10月 ボランティア交流会（一宮スポーツ文化センター） 10月 フォローアップ学習会（本校） 10月 平和記念事業・一宮戦没者追悼式（一宮市木曽川文化会館） 12月 赤い羽根共同募金ボランティア（ホームセンターコーナン） 12月 愛厚ホーム一宮苑クリスマス会（動画での配信） 1月 高校生ボランティア研修交流会（社団法人中部盲導犬協会） 2月 障害者スポーツ推進事業における障害者スポーツ体験交流会（いちのみや中央プラザ体育館） 2月 3年生送別会（本校） 3. 福祉教育の成果と今後の課題 年度後半から少しずつ外部での活動が再開されるようになり、ボランティア活動ができるようになったことが生徒にとって大きな励みになった。 コロナ禍で活動できなかった分、座学で調べ、学んだことを踏まえ今後は積極的に外部の方々と交流していきたい。			

※上記内容を含むものであれば、本報告書の様式は問いません。

※当会ウェブサイトに掲載させていただきます。また、可能な限り各校でウェブサイト等に掲載してください。

令和 4 年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	愛知県立一宮北高等学校	学校 No.	
1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制） 一宮特別支援学校との交流や、地域でのボランティア、社会福祉施設でのボランティアなど、福祉に関する体験活動をととして、責任感や自立心を育て、相手を尊重する豊かな心と社会の一員であるという自覚の育成を目指している。 2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録） (1) 地域社会でのボランティア活動 校内と学校周辺の美化活動を行い、学校生活を快適にするための環境整備と生徒全員のボランティア精神の育成を図った。 例年11月には地域交流の一環として、近隣在住の小学生約100名を集め、スポーツや文化活動体験を通じた交流（北斗スポーツカルチャーフェスティバル）を行っているが、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で中止とした。 (2) 一宮特別支援学校との交流 前期には一宮特別支援学校生徒会執行部が本校に来校し、後期には本校生徒会執行部が一宮特別支援学校を訪問し、交流した。お互いの自己紹介と学校紹介をしながら、親睦を深めることができた。 12月には希望生徒を募集し、生徒会執行部と合わせて本校生徒約20人が一宮特別支援学校を訪問した。3グループに分かれ、一宮特別支援学校の生徒とボッチャやクイズ形式の自己紹介を通して交流した。 例年はこの他に、部活動交流、運動会や文化祭での交流を実施している。 (3) 募金活動、支援活動 校内に設置している募金付自販機から赤い羽根共同募金を行ったり、校内で募金を行い、東日本震災支援の一環として福島県の幼稚園へ絵本を贈ったりした。 例年は、古紙回収で年末助け合い募金、チャリティー募金をしている。 (4) 講演会 9月にNPO法人「鎌倉みどりのレンジャー」理事長の山内政敏氏をお招きし、「東京2020オリンピックとおもてなし」というテーマで講演会を行った。山内氏の経歴や、東京オリンピックでのボランティア活動をはじめ、山内氏が参加してきたボランティア活動に関する話を聞いた。ボランティア活動への理解を深めるとともに、将来の生き方に対する視野を広げることができた。 3. 福祉教育の成果と今後の課題 生徒会執行部を中心としてボランティア活動を行い、福祉に対する関心や、責任感、自尊心を育成することができた。 昨年度に引き続き、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、ボランティア活動が中止になったり、毎年行われている活動ができなかったりした。この活動がこれからも実施できるように引き継いでいく必要がある。			

※上記内容を含むものであれば、本報告書の様式は問いません。

※当会ウェブサイトに掲載させていただきます。また、可能な限り各校でウェブサイト等に掲載してください。

令和4年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学校名	愛知県立一宮西高等学校	学校 No.	
1 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制） ・将来について具体的に考え、社会の一員としての自覚を確立するために福祉活動の一端に触れ、ボランティアや一宮聾学校との交流を中心に行うことで、福祉の心、ボランティア精神について学び、幅広く考える姿勢を身に付ける。 ・高齢者や障害のある人たちとの交流を通して、相互に基本的人権を尊重し、差別や偏見なく他人を思いやる心を育成する。 2 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録） 6月 環境美化活動（1年生） 9月 一宮聾学校高等部生徒との交流会（西高祭に招待） 10月 一宮聾学校高等部生徒との交流会（聾学校発表会見学） 福祉実践教室 赤い羽根募金 3月 千代田保育園年長さんを招待し校内ミニコンサート（吹奏楽部） →9月の一宮聾学校高等部生徒との交流会の準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染防止のため直前に中止となりました。 3 福祉教育の成果と今後の課題 今年度も福祉教育に関わる活動が実施できるように準備を進めましたが、コロナ感染が広がった9月、10月の活動を一部中止せざるを得なくなりました。来年度も感染症対策を十分行い、活動ができるよう計画する予定である。今後も福祉の大切さを生徒に伝え、一人でも多くの生徒が福祉に関心を持てるように考慮したい。			

令和 4 年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	愛知県立木曽川高等学校	学校 No.	
-------	-------------	--------	--

1. 福祉教育の取り組み (目標・計画・推進体制)

(1) 目標 ボランティア教育の一環として、校外・校内ボランティアを通して、日常と違う世界を体験し、様々な人と会うことによって他者を思いやる心を育む。

(2) 計画 例年参加している校外活動に加え、校内でやってみたいボランティア活動を生徒から募集する。

(3) 推進体制 ボランティア委員会を設置し、各クラスより 2 名ずつ委員を選出する。委員による広報活動を通して、生徒全体にボランティア活動を広める。

2. 福祉教育の具体的活動の内容 (活動の記録)

(1) 校外ボランティア活動

- ・ 通年 ブラスバンド部の地域行事などでの演奏
- ・ 8 月 夏休みボランティア福祉体験学習事業
- ・ 11 月～3 月 堤治神社主催はにやすひめマルシェボランティア

(2) 校内ボランティア活動

- ・ 通年 清掃美化活動
- ・ 11 月「赤い羽根募金」募金活動

3. 福祉教育の成果と今後の課題

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止になったイベントもあったが、昨年度に比べ、ボランティアに参加できるイベントが増えてきた。しかし、約 2 年間ボランティア活動ができなかったこともあり、生徒のボランティアに対する意識が弱まり、参加者が減ってしまったのが残念である。その一方で、参加した生徒からは自己有用感を持てたという感想が多く、今後も福祉教育を積極的に行う必要性を感じた。来年度は、多くの生徒がボランティアに対する興味関心を持てるよう、ボランティアの案内や活動報告を、より具体的に掲示物や学校のウェブサイトなどで提示していきたい。

また、ボランティア委員や環境整備委員を中心に、校内や学校周辺の美化活動を充実させ、学校生活や地域に根差した福祉活動を進めていきたい。

※当会 Web 上に掲載させていただきます。

また、可能な限り各校でも Web 上（ブログ上でも可）に掲載してください。